0511874HA3001

MITSUBISHI

業務用単独加湿ユニット専用 システム部材
リモコン
形 名

PT-03S

取付工事説明書　　販売店・工事店さま用

このリモコンは、単独加湿ユニットの運転・停止や加湿量切換・乾燥運転の運転・停止等を行うものです。

■取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
また、単独加湿ユニット本体および各システム部材の取付工事・取扱説明書と併用して施工してください。
■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。(お客さま自身で工事しないでください)
■取付けには市販のJIS C 8340の1個用スイッチボックス(カバーなし)が必要です。
また、適用電線管 には無極性2線PVC線単線φ0.65～φ1.2、またはより線0.3～1.25mm²
電線管 には 薄鋼電線管(JIS C 8305)呼び径15～25、電線管に合うロックナット、 ブッシング(JIS C 8330)が必要です。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

分解禁止

改造・必要以上の分解はしない
改造したり、修理に不備があると感電・火災等の原因になります。

指示に従い必ず行う

取付けは、販売店または専門業者に依頼する
お客さま自身で取付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります。

取付けは、質量に十分耐えるところに確実に行う
強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります

取付工事は、この説明書に従い確実に行う
取付けに不備があると、感電・火災等の原因になります

指示に従い必ず行う

配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する
接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります

電気工事は、電気工事士の資格があるかたが、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および取付工事説明書に従い施工する
電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります

安全のために必ず守ること　つづき

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ取付けない
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火・爆発の原因になることがあります

特殊環境には使用しない
油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります

酸性・アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところへ取付けない
感電・故障の原因になることがあります

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない
火災・故障の原因になることがあります

ボタンを先のとがったもので押さない
感電、故障の原因になることがあります

AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。本機への印加電圧は最大でDC30Vです
破壊、発火、火災の原因になることがあります

本機を取付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には取付けない
火災、故障の原因になることがあります

水ぬれ禁止

本機を水洗いしない
感電、故障の原因になることがあります

ぬれ手禁止

濡れた手でボタンを操作しない
感電、故障の原因になることがあります

風呂・シャワー室での使用禁止

浴室・厨房など大量の湯気が発生するところには取付けない
壁が結露するような場所は避けてください
感電、故障の原因になることがあります

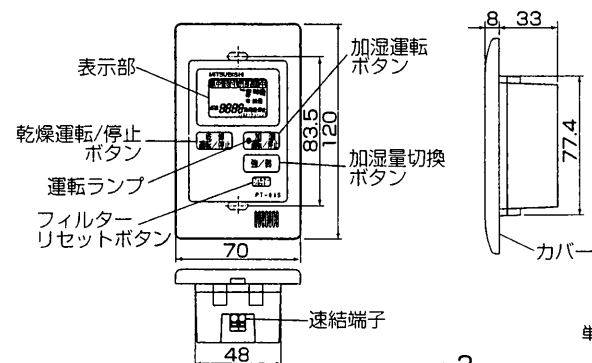
指示に従い必ず行う

病院、通信事業所などに取付ける場合は、ノイズに対する備えを十分に行う
インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります

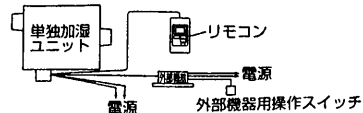
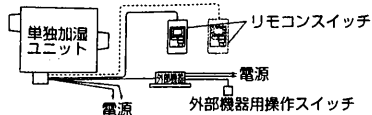
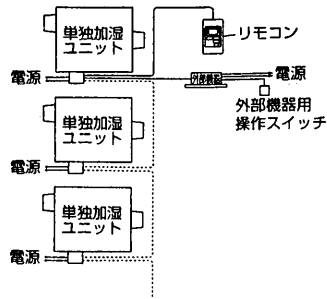
配線は張力がかからないように配線工事を行う
断線したり、発熱、火災の原因になることがあります

リモコンコード引込み口をパテで確実にシールする
霧、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります

リモコンコードは電流容量に合った、規格品の電線を使用する
漏電や発熱、火災の原因になることがあります

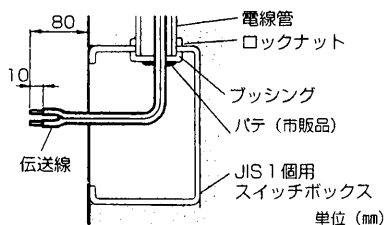
各部のなまえと外形寸法図

システム例

結線の詳細については単独加湿ユニット本体の取付工事説明書をご参照ください。

〈例1〉リモコン1台+単独加湿ユニット1台+外部機器1台

〈例2〉リモコン2台+単独加湿ユニット1台+外部機器1台

〈例3〉 複数台
リモコン1台+単独加湿ユニット最大15台+外部機器1台

取付方法

工事上のお願い

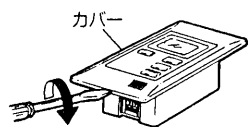
- 指定を越える太さの電線を速結端子に差し込まないでください。(破損のおそれがあります)
- 電線管の中には他の電線をいっしょに入れないでください。(通信異常の原因になります)
- 複数の伝送線を多芯ケーブルで配線しないでください。(通信異常の原因になります)
- 伝送線の総延長は500m以内としてください。(通信異常の原因になります)

1

配　線

あらかじめお客さま手配部品にてスイッチボックスを埋込み、単独加湿ユニットからの伝送線を配線する。このとき、単独加湿ユニット本体の電源が入っていないことを確認する。

- 外気侵入による結露防止のため市販のパテで確実にシールします。

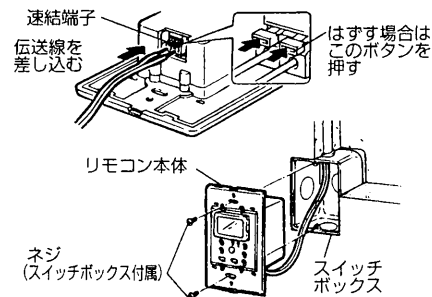
お願い

- 電線管の取出し方向は、ボックスの上下方向のみで左右方向はできません。

カバーの取りはずし

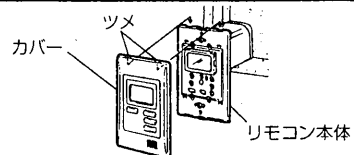
切り欠き部にマイナスドライバーを入れて図のように回し、カバーを取りはずす。

お願い

- カバーに傷がつかないようにはずしてください。

3

伝送線の接続とリモコンの取付け

1. 伝送線を速結端子に確実に差し込む。（極性なし）
2. 接続後、伝送線を軽く引っ張り、抜けないことを確認する。
3. リモコン本体をスイッチボックスに付属のネジ2本で、スイッチボックスに取付ける。

4

カバーの取付け

上側のツメを引掛け、下側を「パチン」と音がするまで押えてはめ込む。

試運転

単独加湿ユニット・外部機器などの取付け後、システムの試運転を行ってください。
リモコンは通電されれば「HO」を点滅(45秒以内)後、運転開始状態になります。
下記の要領で各ボタンを押して正常に運転されるかを確認してください。

	操作部	表示部	手　順
1		HO	単独加湿ユニットに電源を供給します。(「HO」が45秒以内点滅)
2	加湿 運転/停止		加湿運転ボタンを押します。 (運転ランプが点灯し、単独加湿ユニットが運転開始)
3	強/弱	弱　強	加湿量切換ボタンを押します。(押すたびに強・弱が切り換わる)
4	加湿 運転/停止	3:00 時間後停止	加湿運転ボタンを押します。(運転ランプが消灯し、単独加湿ユニットは給水電磁弁が閉止し、乾燥運転（弱）になります) 乾燥（dRY）と乾燥残時間を交互に点滅します。 ※本体の設定により内部乾燥運転を手動にした場合は、停止します。
5	乾燥 運転/停止		乾燥運転/停止ボタンを5秒間押します。 (加湿エレメント内部乾燥運転停止、通電表示のみ)

※詳しくは単独加湿ユニット同梱の取付工事説明書をご覧ください。

■試運転後、サービス弁を閉じ加湿量切換ボタンを「強」にして24時間以上運転し、加湿エレメント内に水分が残留しないようにしてください。運転を行わないと残留水が腐敗し、悪臭を生じることがあります。
異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。

※ PT-03S を使用した場合、以下の機能は単独加湿ユニット本体の設定に従います。
・フィルタークリーニング表示設定
・外部制御による単独加湿ユニットとの連動モード設定

点検ナンバーが点滅しましたら下表を参照して処置してください。

点検ナンバー	原　因	処　置
0900	単独加湿ユニットの回路ボックス内の試運転スイッチが「ON」になっている	試運転スイッチを「OFF」にする
6608	リモコン接続前に単独加湿ユニット本体を通電した	電源を切り、再度電源を入れる
	単独加湿ユニットが2台以上接続されている場合で、単独加湿ユニットの主/従切換スイッチの切換設定がされていない	電源を切り、1台の単独加湿ユニットを主設定にし、他の単独加湿ユニットを従設定にする。その後、再度電源を入れる(工場出荷時はすべて主設定)
	リモコンが2台接続されている場合で1台のリモコンの接続がはずれている(1台のリモコンが動作しない)	電源を切り、伝送線の接続を確認し再度電源を入れる
	リモコンが2台接続されている場合で、2リモコン設定が自動で行われない	電源を切り、再度電源を入れる
	複数の伝送線を多芯ケーブルで配線した	適用電線に変えて伝送線を離して配線し直す
4116	回路・モーターの故障	電源を切ってお買上げの販売店にお申し付けください
2600	加湿器の故障	給水元栓を閉めお買上げの販売店にお申し付けください
2601	加湿コネクタのはずれ	電源を切ってお買上げの販売店にお申し付けください

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111